

【平成元年度：『地域農業の変貌と農協営農活動の課題』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
157	元. 5. 27	☆「農協運動の現代的課題」	京都府農協会館	147
158	8. 4	「都市農業における農業面対策の課題と方向」	なにわ会館	52
159	9. 28	「水田農業の確立にどう取り組むか」	奈良県農協会館	61
160	12. 6	「営農指導強化の課題と方策」	和歌山県農協会館	78
161	2. 2. 6	「生産資材購買事業強化の課題と方策」	兵庫県農業会館	51

- 本研究会創立30周年記念事業を実施した。
- 本年度研究大会として、創立30周年記念シンポジウムを実施した。
- シンポジウム終了後、記念パーティーを開催した。会員同士の親睦を深めるとともに、研究会のさらなる発展を確認しあった。
- 研究会創立30周年を記念して、会報特集号（『近畿農協研究会30周年のあゆみ』）を刊行した。
- 記念出版事業として、「農協運動の現代的課題」の出版に取り組んだ。

【平成2年度：『農協事業革新の課題と対応策』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
162	2. 8. 6	「系統信用事業革新の課題と対応策」	なにわ会館	64
163	9. 26	「系統共済事業革新の課題と対応策」	滋賀会館	110
164	12. 8	☆「連合会のあり方を考える」	京都府農協会館	124
165	3. 2. 15～16	「神戸西農協の事業戦略」	神戸市西農業協同組合（現地研究会）	47

- 神戸西農協の全面的な協力を得て、「現地研究会」を1泊2日の日程で実施し、定員40名を超える参加者が集まり、大いに会員間の親睦を深めた。
- 会報購読会員を准会員に改めた。

【平成3年度：『系統組織再編の課題と対応策』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
166	3. 8. 1	「総合審議会答申をどう受けとめるか」	奈良県農協会館	104
167	9. 27	「総審答申の問題点を探る-経済事業を中心に-」	和歌山県農協会館	84
168	12. 14	☆「農協改革の決め手は何か-第19回全国農協大会決議を踏まえて-」	滋賀県農業教育情報センター	111
169	4. 2. 14～15	「東知多農協の事業戦略を探る」	東知多農業協同組合（現地研究会）	31

- 愛知県東知多農協の全面的な協力を得て、1泊2日の「現地研究会」を実施した。

【平成4年度：『系統組織再編の課題と対応策』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
170	4. 7. 10	「広域合併農協の運営を考える」	兵庫県農業会館	150
171	9. 26	「信用事業における系統組織再編をどう進めるか」	大阪リバーサイドホテル	66
172	12. 5	☆「日本農業の将来展望と系統農協の対応策-『新政策』の徹底検討-」	京都 J A 会館	65
173	5. 2. 26～27	「販売事業改革の課題と対応方向」	有田中央農業協同組合（現地研究会）	101

- 3年目をむかえる現地研究会は、和歌山県有田中央農協、そして同農協中央会、同各連合会の全面的な協力を得て、1泊2日の日程で開催した。

【平成5年度：『広域合併農協の運営を考える』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
174	5. 7. 8	「広域合併農協の本・支所機能のあり方を考える」	奈良県農協会館	139
175	9. 17	「広域合併農協の人事労務管理のあり方を考える」	兵庫県農業会館	83
176	12. 17	☆「農協危機打開の戦略を問う」	京都 J A 会館	109
177	6. 2. 16	「広域合併農協の営農面活動のあり方を考える」	滋賀県農業教育情報センター	49

- 財政状況の悪化に対処するために、経費の節減に努めると共に、例会・大会参加者から資料代を本年度より徴収する。

【平成6年度：『広域合併農協の事業システムを考える』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
178	6. 7. 7	「資産管理事業のあり方を考える」	大阪リバーサイドホテル	64
179	9. 16	「信用事業システムのあり方を考える」	和歌山県 J A ビル	63
180	11. 19	☆「新段階をむかえた日本農業と農協-全国農協大会決議を中心に-」	滋賀県農業教育情報センター	101
181	7. 2. 24	「共済事業システムのあり方を考える -広域合併農協の事業システムを考える-	奈良県農協会館	58

【平成7年度：『広域合併農協の事業戦略を考える』】

回数	開催日	テーマ	会場	出席者数
182	7.7.5	「新食糧法にどう対応するか」	京都 J A 会館	87
183	9.8	「広域合併農協の購買事業システムを考える」	大阪リバーサイドホテル	55
184	12.9	☆「新しい協同組合原則をめぐって」	滋賀県農業教育情報センター	97
185	8.1.25	「これからの生活店舗事業を考える」	和歌山県 J A ビル	40

【平成8年度：『広域合併農協の組織と事業』】

回数	開催日	テーマ	会場	出席者数
186	8.7.12	「広域合併農協の経営管理組織を考える」	兵庫県農業会館	118
187	9.3	「広域合併農協の事業戦略を考える」	奈良県農協会館	39
188	12.5	☆「新農業基本法」はいかにあるべきか」	滋賀県農業教育情報センター	65
189	9.2.6	「広域合併農協における営農センター整備のあり方を考える」	京都 J A 会館	65

【平成9年度：『農協の当面する課題を考える』】

回数	開催日	テーマ	会場	出席者数
190	9.8.11	「これからの役職員教育のあり方を考える」	大阪リバーサイドホテル	55
191	10.9	「金融ビッグバンと農協の対応策」	和歌山県 J A ビル	74
192	12.12	☆「21世紀の J A 像を展望する」	京都 J A 会館	51
193	10.2.26	「農協のトップマネジメント体制を考える-改正農協法をめぐって-」	兵庫県農業会館	64

○本年度より、近畿各府県農協中央会に事務局員を委嘱、「拡大事務局会議」の構成員として、当研究運営の協力体制を充実した。

【平成10年度：『農協運動の新たな活性化方策をさぐる』】

回数	開催日	テーマ	会場	出席者数
194	10.7.23	「女性の農協運動への参画をどうすすめるか」	奈良県農協会館	83
195	9.14	「農協の高齢者対応をどうすすめるか」	京都 J A 会館	95
196	11.19	☆「新基本法調査会」答申の評価と検証」	兵庫県農業会館	70
197	11.1.21	「農業の担い手づくりをどうすすめるか」	滋賀県農業教育情報センター	60

- 前年度の「拡大事務局会議」を「事務局会議」とし、当研究会業務の活性化に向け多大の協力を得た。
- 研究例会・研究大会の開催案内の充実。従来のハガキ一本の案内から、「個人会員」は従来のハガキ、「団体会員」は各位宛（A4版：表は「開催案内」、裏面は「当年度の開催予定案内など」）を幅広く配布して参加を呼びかけた。
- 「近畿農協研究会通算200回・創立40周年記念事業」実施について。次年度に当研究会通算第200回・創立40周年を迎えることから、事務局会議及び運営委員会等の議を経て「同記念事業実行委員会」（委員長 藤谷築次）を設置、記念事業実施要領（案）の検討を通して具体化のための合意形成を図った。

【平成11年度：『系統組織再編の現代的課題』】

回数	開催日	テーマ	会場	出席者数
198	11.7.2	「系統組織再編と中央会機能」	大阪コロナホテル	60
199	9.16	「系統経済事業の課題と連合組織のあり方」	和歌山県 J A ビル	62
200	11.12	☆「21世紀の J A 革新の基本方向」	京都 J A 会館	70
201	12.1.25	「系統共済事業の革新と『統合連合会』の役割」	滋賀県農業教育情報センター	61

- 本研究会通算200回・創立40周年記念事業を実施した。
- 本年度研究大会として、本研究会通算200回・創立40周年記念シンポジウムを実施した。
- シンポジウム終了後、記念パーティーを開催した。会員同士の親睦を深めるとともに、研究会のさらなる発展を確認しあった。
- 本研究会通算200回・創立40周年を記念して、会報特集号（「近畿農協研究会40周年のあゆみ」）と『会報：近畿農協研究』総目録集を刊行した。

【平成12年度：『広域合併 J A の成功条件をさぐる』】

回数	開催日	テーマ	会場	出席者数
202	12.7.18	「広域合併 J A の組織運営のあり方を考える -業務執行体制の確立と理事会運営を中心に-」	奈良県農協会館	120
203	9.22	「広域合併 J A の経営管理システムのあり方を考える」	兵庫県農業会館	62
204	12.8	☆「J A 改革のシナリオを問う-第22回 J A 全国大会決議を踏まえて-」	大阪リバーサイドホテル	116
205	13.1.27	「広域合併 J A の人づくりを考える-職員教育を中心として-」	和歌山県 J A ビル	57

【平成13年度：『環境変化に対応するJA事業再構築の課題』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
206	13. 7. 19	「流通環境の変化に対応するJA直売事業のあり方 -農産物直売所問題を中心に-」	京都JA会館	57
207	9. 21	「経営環境の変化に対応するJAの新たな事業方式 -協同会社問題を考える-」	兵庫県農業会館	58
208	11. 29	☆「経営管理方式の革新と組合員のガバナンス -農協法改正を踏まえて-」	滋賀県農業教育情報センター	50
209	14. 1. 28	「情報技術の革新とJAの事業活動のあり方」	大阪リバーサイドホテル	53

【平成14年度：『JAの運営理念と基本戦略を考える』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
210	14. 7. 23	「JAバンクシステムの下での経済事業改革の論理と決め手を探る」	和歌山県JAビル	101
211	9. 20	「農協法改正を踏まえた営農事業の今日的な位置づけと改革方向を考 える」	春日野荘	70
212	11. 28	☆「系統組織再編の課題と連合組織のあり方を考える」	京都JA会館	95
213	15. 2. 7	「JA女性組織の在り方と活性化方策を考える -JA運動における組合員組織のあり方をめぐって-」	滋賀県農業教育情報センター	99

○研究会の開催曜日・時間は原則として、平日の午後1時から午後5時までとする。

【平成15年度：『JA改革断行』の課題と戦略を考える』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
214	15. 7. 25	「JA信用事業改革の課題と戦略を考える」	京都JA会館	78
215	9. 25	「JA共済事業の競争力強化の戦略を考える」	兵庫県農業会館	63
216	11. 28	☆「『JA改革』断行のシナリオを問う -第23回JA全国大会決議をどう実践するか-」	大阪リバーサイドホテル	57
217	16. 2. 5	「営農経済事業改革の課題と対応方向を考える」	ホテルグランヴィア和歌山	81

【平成16年度：『改革後の新しいJA像を考える』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
218	16. 7. 27	「営農指導事業をどう再構築するか-『検討委員会報告』を踏まえて-」	春日野荘	64
219	9. 24	「生活指導事業をどう再構築するか」	滋賀県農業教育情報センター	62
220	11. 29	☆「改革後の新しいJA像を展望する」	京都JA会館	83

○研究会は、報告者等をテーマに即して、積極的に域外からも招聘するため、年2回の開催とする。

【平成17年度：『改革後の新しいJA像を考える』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
221	17. 7. 22	「営農指導事業の再構築戦略を考える」	兵庫県農業会館	87
222	10. 11	「支所・支店機能の再構築を考える」	和歌山県JAビル	135
223	18. 1. 31	☆「日本型総合JAの将来ビジョンを考える -信用共済事業分離論をどう克服するか-」	大阪リバーサイドホテル	109

【平成18年度：『JA改革の課題と方向』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
224	18. 7. 24	「生産資材事業改革の具体策を考える」	春日野荘	77
225	10. 27	「販売事業改革のあり方を考える-JA直売を中心に-」	滋賀県農業教育情報センター	72
226	19. 1. 26	☆「JA改革の課題と方向-第24回JA全国大会決議を踏まえて-」	京都JA会館	136

【平成19年度：『JA改革の課題と方向』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
227	19. 7. 27	「JAの人材育成のあり方を考える-職員教育を中心に-」	兵庫県農業会館	80
228	10. 25	「組合員組織の育成・活性化について考える -地域社会との関わりを通して-」	ホテルグランヴィア和歌山	106
229	20. 1. 25	☆「地域社会におけるJAの存意義と役割を考える」	大阪リバーサイドホテル	71

【平成20年度：『総合JAの将来ビジョンと戦略』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
230	20. 7. 28	「総合JAの『総合性』を考える」	奈良県農協会館	132
231	11. 28	☆「日本農業・農政と農協運動の新しい展開方向を探る」	京都JA会館	114
232	21. 1. 27	「JAの組織基盤問題を考える」	滋賀県農業教育情報センター	65

- 社団法人農業開発研修センターと共同開催で、創立50周年記念事業を実施した。
- 本年度研究大会として、創立50周年記念シンポジウムを実施した。
- シンポジウム終了後、記念パーティーを開催した。
- 創立50周年を記念して、会報特集号と「研究会50年のあゆみ」を刊行した。
- 記念出版事業として、「農協の存在意義と新しい展開方向」の出版に取り組んだ。

【平成21年度：『大転換期におけるJAのあり方』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
233	21. 7. 27	「農政見直しの論点とJAの課題-担い手づくりを中心に-」	兵庫県農業会館	76
234	11. 26	「改正農地法、JAはどうか対応するか-地域力発揮、地域の調和-」	ホテルグランヴィア和歌山	65
235	22. 1. 26	☆「大転換期におけるJAのあり方を考える -第25回JA全国大会決議をどう実践するか-」	大阪リバーサイドホテル	79

【平成22年度：『大転換期におけるJAのあり方』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
236	22. 7. 27	「JAは農商工連携にどう取り組むか」	奈良県農協会館	105
237	11. 4	「JAの担い手支援のあり方を考える-営農渉外を軸にして-」	滋賀県農業教育情報センター	73
238	23. 2. 21	☆「『新たな協同』で拓く地域農業と地域社会の未来」	京都JA会館	71

【平成23年度：『JA改革の到達点と残された課題』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
239	23. 9. 2	「組合員のJA運営への参加・参画を考える -意思反映の仕組みづくりを中心に-」	兵庫県農業会館	92
240	11. 8	「支店機能のあり方を考える」	ホテルグランヴィア和歌山	91
241	24. 1. 24	☆「JA改革の到達点と今後の改革課題を考える」	大阪リバーサイドホテル	72

【平成24年度：『次代へつなぐ協同』の課題と戦略』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
242	24. 7. 30	「JAくらしの活動」をどう進めるか-女性組織活動を中心に-」	奈良県農協会館	110
243	12. 3	☆「『次代へつなぐ協同』の課題と戦略 -第26回JA全国大会決議をどう実践するか-」	京都JA会館	98
244	25. 2. 4	「JAにおける地域農業の担い手づくり戦略を考える」	滋賀県農業教育情報センター	84

【平成25年度：『次代へつなぐ協同』の課題と戦略』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
245	25. 7. 30	「JAの人づくりを考える -次代へつなぐ組織基盤づくりと問われる職員力-」	兵庫県農業会館	63
246	11. 5	☆「『次代へつなぐ協同』をどう実践するか -支店を核にした協同活動を中心に-」	大阪リバーサイドホテル	106
247	26. 2. 6	「JA生産販売戦略の策定・実践をどう進めるか -園芸事業を中心に-」	ホテルグランヴィア和歌山	66

【平成26年度：『JA革新の課題と対応方向』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
248	26. 7. 29	「JAガバナンスの革新方向を探る -規制改革会議等の『農協改革論』を超えて-」	奈良県農協会館	116
249	10. 29	☆「営農経済事業をどう革新するか-『農協改革』を超えて-」	滋賀県農業教育情報センター	97
250	27. 2. 3	「JA革新の課題と対応方向を考える」	京都JA会館	126

- 本年度研究大会として、本研究会通算250回記念大会を実施した。

【平成27年度：『JAにおける自己改革の課題と対応方向』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
251	27. 7. 24	「JAの担い手育成・支援の強化方向を探る」	兵庫県農業会館	61
252	10. 27	「JAの自己改革と『地域の活性化』を考える」	和歌山県JAビル	94
253	28. 1. 26	☆「JAにおける自己改革の課題と対応方向を考える -第27回JA全国大会決議をどう実践するか-」	エル・おおさか	82

【平成28年度：『創造的自己改革』の実現と課題】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
254	28. 7. 22	「J Aは准組合員にどう向き合うか」	奈良県農協会館	103
255	9. 28	「農業生産の拡大・販売力強化をどう進めるか -『自己改革』の方向と施策をめぐって-」	滋賀県農業教育情報センター	80
256	29. 1. 13	☆『創造的自己改革』をどう実践するか」	京都テルサ	74

【平成29年度：『創造的自己改革』の実践と課題】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
257	29. 7. 25	「こう進める『組合員との徹底的な話し合い』による自己改革」	兵庫県農業会館	74
258	10. 26	「こう進める 農業者の所得増大」	和歌山県J Aビル	90
259	30. 2. 2	☆『創造的自己改革』でどう描く 総合J Aの未来像」	エル・おおさか	85

【平成30年度：『自己改革の総括と今後の改革課題】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
260	30. 7. 27	「自己改革を検証する」	奈良県農協会館	78
261	11. 2	「信用事業分離問題を考える -総合事業堅持と経営基盤強化をめざして-」	滋賀県農業教育情報センター	55
262	31. 1. 28	☆「どう切り拓く 総合農協の未来像」	京都テルサ	62